

ごじゅうせ 「郷中施」ってな～に!?

今から200年以上も前（江戸時代の寛政4年5月15日）、この地域は大変な水害に襲われました。家は流され、たくさんの犠牲者が出ました。でも、生き残った村中（郷中）の住民はお互い助け合っ



龍宮社

て（施し合っ）て、この災害から立ち直りました。それ以来、村人たちは旧暦の5月15日、今の暦の6月下旬～7月上旬には仕事を休んで集まり、村の安全を願って小船にお供え物を乗せて海に流し、一緒にお昼ご飯を食べるようになりました。

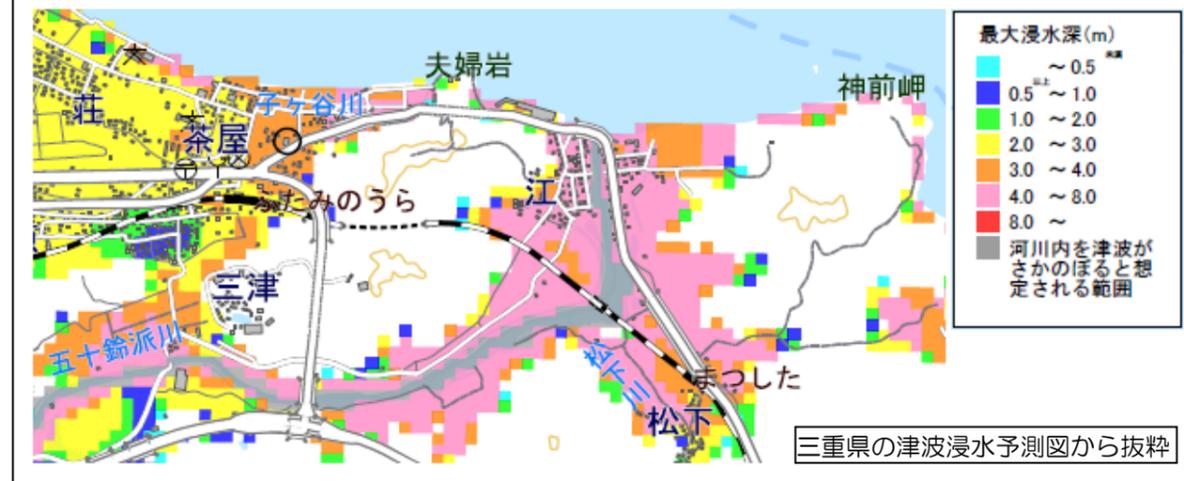
お供え物には、水害を忘れないよう「水害は急に！見るな！待つな！」という思いを込め、「キュウリ、ミルナ（海藻）、マツナ（野菜）」などを使います。この習慣は、村中の住民が助け合うという意味から「郷中施」と呼ばれ、現在も続いています。

このように、この地域の住民には常に自然災害（特に津波、水害）に備え、「もしも」の時には協力し合う気持ちが先祖から脈々と受け継がれているのです。

二見興玉神社境内にある龍宮社は、水害当時の地元の和尚さんが海の神様の怒りを鎮めようと造った社をこの場所へ移したものです。

○ 津波の想定

二見地域の津波浸水予測図（防潮堤等の施設がないと考えた場合）



平成24年の三重県の想定では、東日本大震災と同規模の地震が発生した場合、この地域に高さ50cmの津波が到達するのは約30分後、最大の高さの津波（約4m）が到達するのは約140分後と想定されています。あらかじめ避難場所や避難経路を確認しておきましょう。

伊勢市の防災情報へは、次のアドレスからアクセスできます。

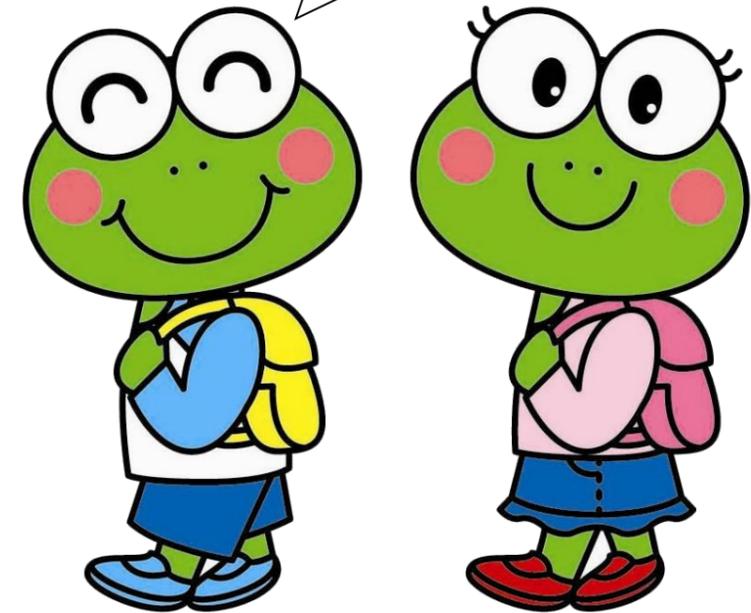
<http://www.city.ise.mie.jp/>

○ このマップは、伊勢市の『災害に強い観光地づくり事業』で、旅館・民宿など地元の観光業者が作成しました。

○ このマップに掲載されている情報は、平成27年6月現在のものです。

「もしも」の時に安心ケロ!

僕たちは『ブージャー』と『エルカ』伊勢のマスコットキャラクターです。



名前の由来は、「無事帰る（カエル）」です。「来ていただいた方々に無事にお帰りいただきたい」そんな気持ちを伝えたいと名付けてくれました。

二見地域観光客津波避難マップ

二見地域 観光施設一覧

地図上の番号に対応しています。

①二見浦海水浴場



②夫婦岩表参道



③寶日館



④二見興玉神社



⑤夫婦岩



⑥二見シーパラダイス



⑦伊勢安土桃山文化村



⑧民話の駅 蘇民



◎市指定津波緊急避難場所
二見小学校校舎 2階以上
二見町庄 1500
海拔 2.8m

◎市指定津波緊急避難場所
音無山
二見町茶屋
海拔 40.0m

◎市指定津波緊急避難場所
緑の一里塚
二見町三津 1210-2
海拔 8.5m

◎市指定津波緊急避難場所
太江寺境内
二見町江 1659
海拔 28.6m

◎津波緊急避難場所
海拔 8m~12m

伊勢市役所
二見総合支所
二見町茶屋 420-1

◎市指定津波緊急避難場所
伊勢安土桃山文化村駐車場
二見町三津 1201-1
海拔 12.8m

◎津波緊急避難場所
海拔 10.3m

凡例 ... ☎ : 屋外公衆電話、➡ : 避難経路、
内側 40分以内に、この線の外側が高所へ避難してください
外側 (※最終津波到達ラインではありません)

※この先 350m
※海拔は国土院の『海岸における3D電子地図』を参考にしていますが、目安とお考えください。